令和６年６月５日

滝沢市議会議長　角掛　邦彦　様

会派名　公明党
代表者名　相　原　孝　彦

政務活動（~~調査研究・~~研修・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第９条に規定する使途基準に基づき、下記の通り政務活動（~~調査研究・~~研修・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

１　期日
令和６年５月 25 日（土）

２　活動場所
全国町村会館（東京都千代田区永田町１-11-35）

３　参加者
小田島清美

４　活動内容
別紙のとおり

政務活動シート

調査主体:公明党

調査項目名称	調査研究(視察含む)　・　研修　・　要請陳情等
活動の理由 及び その目的	・議会改革を進めるにあたり、政策サイクルを円滑に回していくために評価はどうあればよいのか、先進議会の事例や議会アドバイザー江藤教授の講話に学び本議会の議会評価構築に向けて研修を行うものである。
活動概要	●実施日 令和6年5月25日(土)　13:30～17:30 ●場所 全国町村会館 ●内容 研修　1　講演「地方議会からの政策サイクル」と成熟度評価モデル～その現在・過去・ミライ～ 大正大学地域創生学部公共政策学科教授　江藤　俊昭氏 実践報告3題 1　会津若松市議会議員　松崎　新　氏 2　飯田市議会議員　井坪　隆　氏 3　いなべ市議会議員　清水　隆弘　氏 パネルディスカッション 「地方議会からの政策サイクル～ミライの展望」 パネルディスカッション 「地方議会からの政策サイクルに伴走する議会(事務)局」
活動成果	特記事項 研修:本議会が参考とした議会の議会サイクルの評価及び他市議会の評価について聴講することができ、議会評価の構築に向けて重要であった。 所感 本市の議会アドバイザーでもある江藤教授の講話は、今までの議会での講演と合わせ今後の滝沢市議会の議会サイクルにおける評価の在り方、また、すでに議会サイクルを進め評価も実施している会津若松市議会、飯田市議会、いなべ市議会の先進事例を聞くことができ、今後の本市議会の目指すべき評価の在り方の参考となった。 成熟度評価モデルに従いまずは評価を行い、本市としての評価の在り方をしっかり構築していきたい。

研　修　行　程　表

年　月　日	時　　刻	行　　程
令和６年５月 25 日 （土）	10：51～13：04	盛岡駅⇒東京駅（はやぶさ 18 号）
	13：05	東京駅⇒永田町
	13：20	会場着
	13：30～17：30	**【研修】** **全国町村会館２階ホール** **（東京都千代田区永田町 1-11-35）** **「政策サイクル推進地方議会フォーラム」公開セミナー**
	17：30～17：50	永田町⇒東京駅
	18：20～20：33	東京駅⇒盛岡駅（はやぶさ 41 号）

令 和 6 年 6 月 5 日

滝沢市議会議長　角掛　邦彦　様

会 派 名　　公明党
代表者名　　相原　孝彦

政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第９条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

１　期日
令和６年５月３０日（木）　から　令和６年５月３１日（金）　まで

２　活動場所
明治大学アカデミーコモン棟３階アカデミーホール
（東京都千代田区神田駿河台 1-1）

３　参加者
相原孝彦、小田島清美

４　活動内容
別紙のとおり

政務活動シート

調査主体:公明党

調査項目名称	調査研究(視察含む)　・　研修　・　要請陳情等
活動の理由 及び その目的	議会改革を進める渦中にあり、政策サイクルを円滑に回していくために、本大会のテーマである「個性と魅力ある自治体づくり」は、課題に対して魅力ある自治体構築及び自身の識見を高め、住民の福祉の向上に寄与していくことを目的として研修を行うものである。
活動概要	●実施日:2024年5月30日(木)～5月31日(金) ●場所:明治大学アカデミーコモン棟3階　アカデミーホール ●実施日 ■第1日目:5月30日(木)12:00開場・受付 13:00～13:10　大会挨拶 穂坂　邦夫((財)日本自治創造学会理事長) ◇国と地方の基本的課題 13:10～14:00　講演「地方自治体の目指す道」 吉川　洋(東京大学名誉教授・財務省財務総合政策研究所名誉所長) 14:00～14:45　講演「個性ある自治体づくり」 牛山　久仁彦(明治大学政治経済学部教授) ◇新たな地方議会をつくる 15:10～15:55　講演「「政策議会」の理論と実践」 土山　希美枝(法政大学法学部教授) 16:10～16:55　講演 「新たな地方議会の創造“議会からの発信”「住民自治に根幹」としての議会の作動」 江藤　俊昭(大正大学地域創生学部教授) ◇発想を変えた自治体づくり 17:10～17:55　講演「賢く収縮するまちづくり」 青野　高陽(岡山県美咲町長) 18:30～20:00　懇親会 ～地域間交流～“我が自治体の新たな挑戦をPRする” ■第2日目:5月31日(金) ◇義務教育の最重要課題(※講義順変更) 10:40～11:25　講演「今、求められる子どもの自殺予防」 新井　肇(関西外国語大学外国語学部教授・文科省いじめ防止対策協議会座長) ◇デジタルで地方を変える 10:00～10:40　講演「デジタル導入の価値を考える」 河野　太郎(デジタル大臣・衆議院議員) ◇自治体を守る 13:00～13:45　講演 「地方自治体と防災DX-令和6年能登半島地震を踏まえ-」 臼田　裕一郎(国立研究開発法人防災科学技術研究所総合防災情報センター長) 14:00～14:45　講演「住民目線のまちづくり“都市の正義が地方を壊す”」 山下　祐介(東京都立大学人文科学研究科教授) 15:00～15:05　閉会挨拶 牛山　久仁彦((財)日本自治創造学会理事・明治大学教授

活動成果	特記事項 「個性と魅力ある自治体づくり」のテーマに基づいて、それぞれの専門的立場から現状把握と課題に対して、解決の糸口は何か、方向性はどうあればよいか、また、実際に取り組んでいる事例を知ることができた。 所感 少子高齢化の社会、超高齢化の社会にあっても、誰もが安心して住み暮らせるための社会の構築が求められています。 生産年齢人口が少ない中での労働力の確保、現状を維持していくための方法、そのはざまにあってしわ寄せがいっている若者の自殺の増加、こうした現状に国として、自治体として存続していくためにどうしていくのか、どう変えていくのか、どう維持していくのか等の講座も示唆に富むものであった。 本市においても高齢化は待ったなしであり、これからの市の方向性をしっかり見据え、市民が安心して住み暮らせる魅力ある滝沢市の構築に生かしていきたい。

研　修　行　程　表

年　月　日	時　　刻	行　　程
令和 6 年 5 月 30 日 （木）	9：50～12：08	盛岡駅⇒東京駅（はやぶさ 14 号）
	12：20	東京駅⇒御茶ノ水駅（中央線）
	12：30	会場着
	13：00～18：10	**【研修】** **明治大学アカデミーコモン棟 3 階** **アカデミーホール** **（東京都千代田区神田駿河台 1-1）** **「第 16 回　日本自治創造学会　研究大会」** 【宿泊】 お茶の水ホテルジュラク （千代田区神田淡路町 2-9）
令和 6 年 5 月 31 日 （金）	9：00	ホテル発
	10：00～15：05	**【研修】** **明治大学アカデミーコモン棟 3 階** **アカデミーホール** **（東京都千代田区神田駿河台 1-1）** **「第 16 回　日本自治創造学会　研究大会」**
		御茶ノ水駅⇒東京駅（中央線）
	16：20～18：33	東京駅⇒盛岡駅（はやぶさ 35 号）

令和６年１０月２５日

滝沢市議会議長　角掛　邦彦　様

会 派 名　　公明党
代表者名　　相原　孝彦

政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第９条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

１　期日
令和６年１０月９日（水）　から　令和６年１０月１０日（木）　まで

２　活動場所
トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）
（盛岡市内丸 13-1）

３　参加者
相原孝彦、小田島清美

４　活動内容
別紙のとおり

政務活動シート

調査主体:公明党

調査項目名称	調査研究(視察含む)　・　研修　・　要請陳情等
活動の理由 及び その目的	地方議会は投票率の低下や無投票当選の増加など議会への関心の低下や議員のなり手不足が深刻化しています。その解決のために議会の活性化を図り、広く住民に理解を得られるよう取り組むとともに、将来の自治を担う子供たちに主権者教育の取り組みがなされている先進事例について聴講し、本市の今後の主権者教育に向けての一助とするため研修を行うものである。
活動概要	●実施日 令和6年10月9日(水)～令和6年10月10日(木) ●場所 トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館) ●内容 10月9日(水) パネルディスカッション 「地方議会の課題と主権者教育」 コーディネーター 静岡大学人文社会科学部法学科教授　井柳美紀氏 パネリスト 法政大学法学部教授　土山希美枝氏 一般社団法人　WONDER EDUCATION 代表理事　越智大貴氏 読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局　渡辺嘉久氏 盛岡市議会議長　遠藤政幸氏 10月10日(木) 課題討議 「主権者教育の取組報告」 コーディネーター 東北大学大学院情報科学研究科准教授　河村　和徳　氏 事例報告者 白鳥　敏明　氏(伊那市議会前議長) 諸岡　　覚　氏(四日市市議会議員) 服部　香代　氏(山鹿市議会議長)
活動成果	特記事項 研修:本市においても低投票率や市民議会への関心の薄さなどが課題となっている。全国の先進地域での主権者教育について取り組みを知ることができ今後の本市の主権者教育にとって重要であった。 所感 議会の考える主権者教育は、学校教育と連携を図りながら学校の教育カリキュラムの中に位置付けられるよう計画的に行われなければならないと思う。議会はどこまでも、議会を知ってもらう。そして、広く市民に開かれた議会を目指す取り組みを進めることが大事と考えた。また、要望が叶うこと、意見を話せることを体験させるために議会を使ってもらうことが重要であるとの話は共感できた。本市も学校と大いに連携し議会は市民にとってなくてはならないものであることをしっかり認識させるための取り組みを進めていきたい。

令和６年１１月２７日

滝沢市議会議長　角掛　邦彦　様

会 派 名　　公明党
代表者名　　相原　孝彦

政務活動（調査研究）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第９条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究）を実施したので、報告します。

記

１　期日
令和６年１１月６日（水）　から　令和６年１１月８日（金）　まで

２　活動場所
① 静岡県菊川市
② 静岡県藤枝市
③ 静岡県静岡市
④ 神奈川県座間市

３　参加者
相原　孝彦　小田島清美

４　活動内容
別紙のとおり

政務活動シート

調査主体:公明党

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ 研修 ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	本市と災害時等相互応援協定の締結をしている菊川市と南海トラフ地震を見据えて防災対策を講じている藤枝市の地域住民と自治体による防災・減災にかかる連携の調査、さらに産業まつり等相互に交流している菊川市及び座間市の地域ブランドの開発とふるさと納税の利用促進の調査を行い本市の防災及び地域ブランド開発とふるさと納税の利用促進に役立てることを目的とする。
活動概要	●実施日 令和6年11月6日(水)～11月8日(金) ●場所 静岡県菊川市・藤枝市、 神奈川県座間市 ●内容 11月6日(水) 菊川市視察:菊川市役所 ・地域住民と自治体による防災・減災に係る連携 ・地域ブランドの開発とふるさと納税の利用促進 11月7日(木) 1 藤枝市視察:藤枝市役所 ・地域住民と自治体による防災・減災に係る連携 ・多目的支援車の導入経緯と活用 2 静岡県地震防災センター視察 11月8日(金) 座間市視察:座間市役所 ・地域ブランドの開発とふるさと納税の利用促進
活動成果	所感 菊川市は本市と災害時等相互応援協定を締結しており、滝祭においては、菊川市がお茶の販売を実施したり、菊川市産業まつりにおいて滝沢市のりんごを販売したりするなど、姉妹都市に近い交流を行っている。菊川市の自主防災組織では、リーダーを中心に自主防災訓練が計画的に実施され、リーダー研修会も複数回開催されている。常に最新の情報収集を行い、必要な備蓄品の確保など、防災体制の強化に努めている。 藤枝市では、災害発生時に迅速に対応できるよう、トイレやAIシャワーなどを備えた多目的支援車を導入している。本市においても将来的には、多目的支援車の導入を検討する必要がある。単独での導入が難しい場合は、盛岡市を中心とした広域自治体での分散導入も考慮すべきである。 静岡県地震防災センターは、地震による揺れの体験や、建物に対する揺れや津波発生の仕組みを分かりやすく展示している。さらに、災害発生後の対応手法や、富士山の噴火による被害状況をプロジェクションマッピングを用いて視覚的に分かりやすく説明することで、県民の防災意識向上に貢献している。視察当日も、県内小学校の4年生が、熱心に施設見学をしていた。このような施設は、東日本大震災の被災県である本県においても必要であると感じた。 地域ブランドの開発とふるさと納税に関わっては、菊川市は、特産品のお茶をメインにブランド品の開発に力を入れており、本市同様に全国への展開を進めている。地元の特産品開発には、関係機関の協力が不可欠である。座間市は、ふるさと納税を開始したばかりだが、特産品の開発に力を入れており、納税額を増やすための方法を模索している。本市も、特産品の開発や宣伝、コスト削減に積極的に取り組む必要がある。 それぞれの市の取り組みから、災害対策の重要性と、地域活性化のためのブランド戦略の必要性を改めて認識した。これらの取り組みを参考に、本市でも防災対策と地域振興の両面において、積極的に取り組みを進めていく必要がある。

（資料１）藤枝市の多目的支援車

藤枝市のマンホールトイレ保管庫

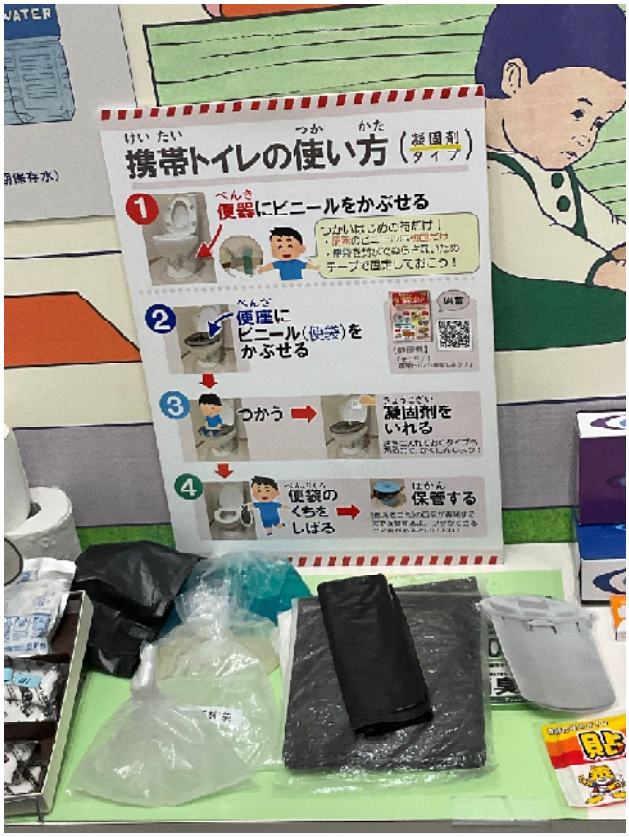
藤枝市の多目的支援車

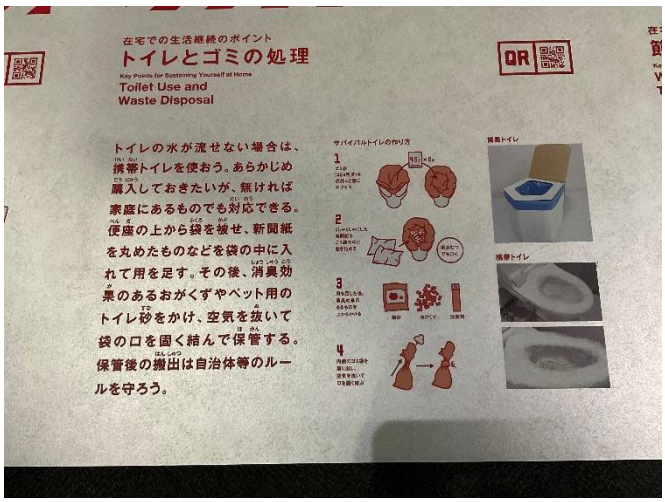
多目的支援車の装備品

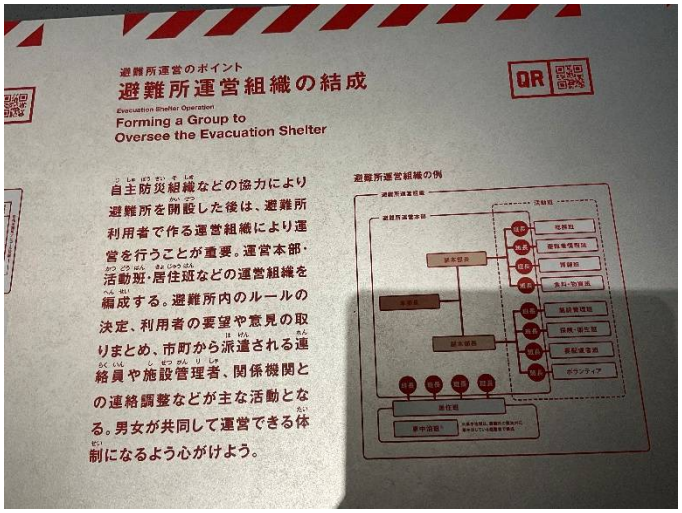
多目的支援車の組み立て後

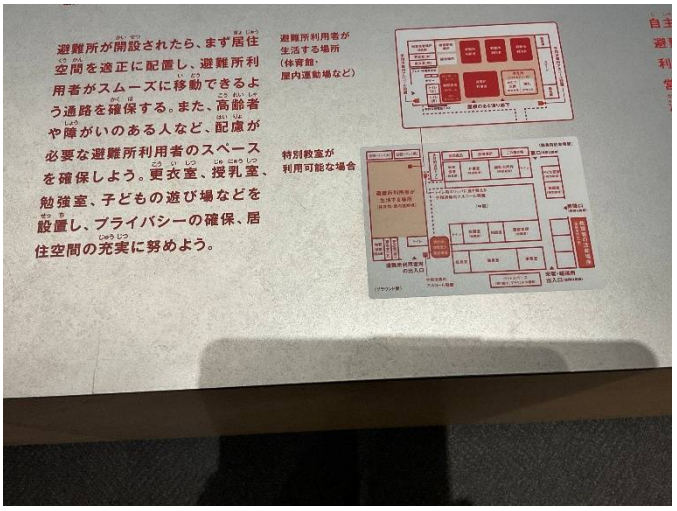
下図は能登半島震災での活動状況（視察資料より）

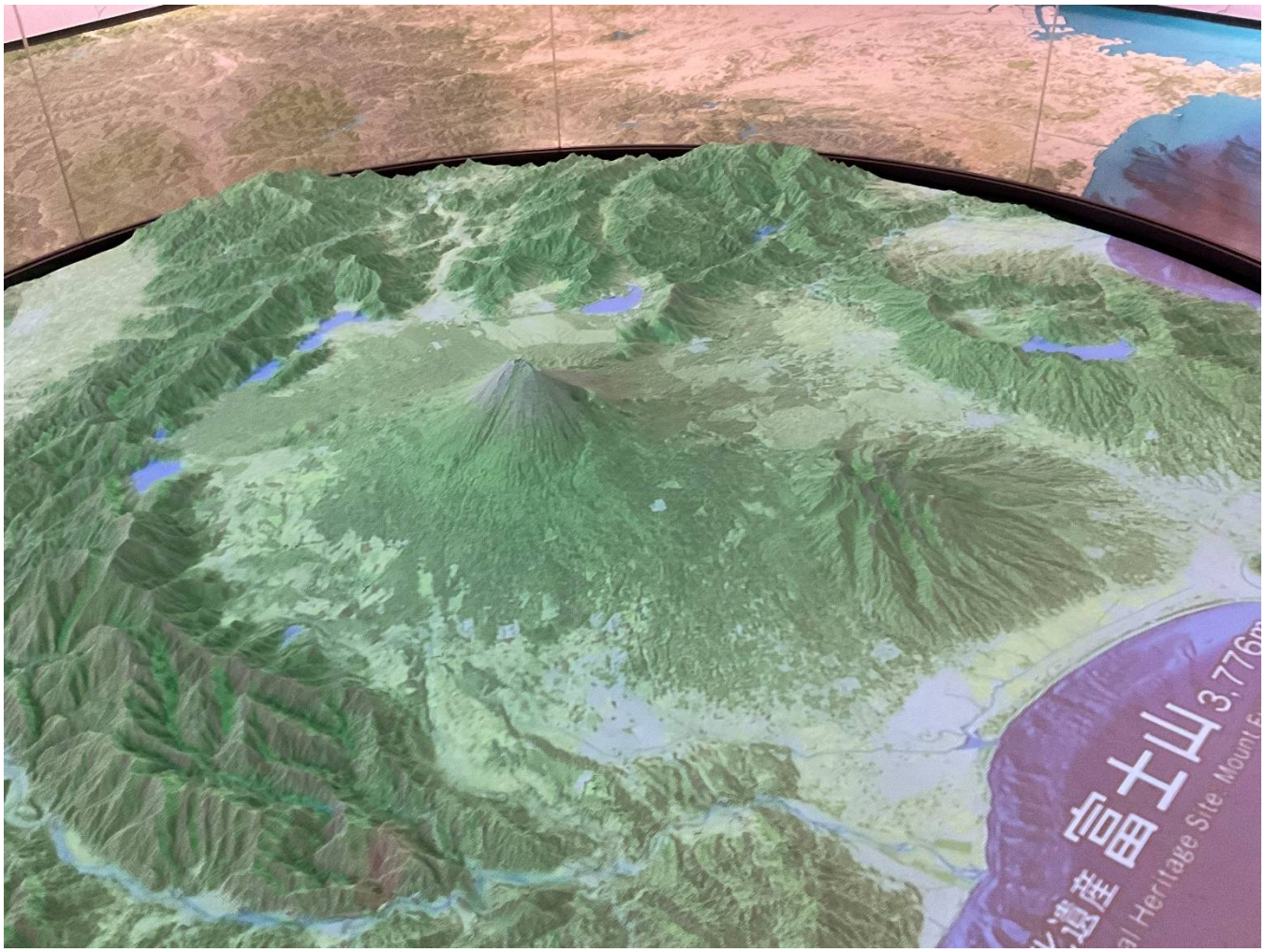
（資料 2）静岡県地震防災センター











富士山の縮尺模型へのプロジェクションマッピング

滝沢市議会視察参加名簿

議員氏名	政党所属	備考
ひなた　せいいち 日向　清一	無所属	滝政会　代表
いのうえ　じん 井上　仁	〃	滝政会
えんどう　ひでき 遠藤　秀鬼	〃	滝政会
つのかけ　くにひこ 角掛　邦彦	〃	滝政会、議長
あいはら　たかひこ 相原　孝彦	公明党	公明党　代表
おだしま　きよみ 小田島　清美	〃	公明党

〒020-0692
岩手県滝沢市中鵜飼５５番地　滝沢市議会

会派視察日程表（案）

（令和６年１１月６日～令和６年１１月８日）

年月日	時刻	行程
令和６年 １１月６日 （水）	7：37	盛岡駅発（はやぶさ６号）
	9：47	東京駅着
	10：03	東京駅発（ひかり５０７号）
	11：02	静岡駅着
	11：16	静岡駅発
		～レンタカー移動～
		【昼食】菊川市内
	13：50	菊川市役所着
	14：00～15：30	**菊川市視察**
	15：40	菊川市役所発
		～レンタカー移動（藤枝市へ）～
		藤枝市内宿泊
令和６年 １１月７日 （木）	9：00	藤枝市内宿泊施設発
	9：50	藤枝市役所着
	10：00～11：30	**藤枝市視察**
	11：40	藤枝市役所発
		～レンタカー移動～
		【昼食】
	13：25	静岡県地震防災センター着
	13：30	**静岡県地震防災センター見学** 静岡県静岡市葵区駒形通５丁目９番１号 TEL:054-251-7100

	15：00	静岡県地震防災センター発 ～レンタカー移動～ 静岡市内宿泊
令和６年 １１月８日 （金）	8：30 10：20 10：30～12：00 12：10 14：24 14：49 14：54 15：12 15：20 17：32 	静岡市内宿泊施設発 ～レンタカー移動～ 座間市役所着 **座間市視察** 座間市役所発 ～レンタカー移動～ 【昼食】 相模原駅 相模原駅発（ＪＲ横浜線快速） 新横浜駅着 新横浜駅発（ひかり６５０号） 東京駅着 東京駅発（はやぶさ３１号） 盛岡駅着 解散

令和７年２月２６日

滝沢市議会議長　角掛　邦彦　様

会 派 名　　公明党
代表者名　　相原　孝彦

政務活動（~~調査研究~~・研修・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第９条に規定する使途基準に基づき、政務活動（~~調査研究~~・研修・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

１　期日
令和７年２月１５日（土）　から　令和７年２月１６日（日）　まで

２　活動場所
リファレンス西新宿大京ビル　東京都新宿区西新宿７丁目２１－３

３　参加者
小田島　清美

４　活動内容
別紙のとおり

政務活動シート

調査主体 ： 公明党

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ (研修) ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	地域活性化と議会改革に関する研修を受講し、市の課題解決に向けた一助とするため。
活動概要	●実施日 令和7年2月16日 10時から16時30分まで ●場所 リファレンス西新宿大京ビル 住所 東京都新宿区西新宿7丁目21−3西新宿大京ビル ●内容 地方議会研究会セミナー 「人口減少対策地方創生特別研修」 関東学院大学 法学部地域創生学科 牧瀬 稔 教授 講座1:10:00〜12:30 ・地域活性化と政策づくり 講座2:14:00〜16:30 ・議会改革の視点と展望
活動成果	1講座150分の講座であったが、各市町等の豊富な事例の紹介を通しながらテーマに沿って、基本となる事項を踏まえながらの講義であった。本市における地域活性化及び議会改革の一助となるものであった。 所感 講座1:「地域活性化と政策づくり」 境港市の「水木しげるロード」の成功例を通しながら、地域活性化を目指していくためには、企画・運営・定着等が必要になってくるため、関わる職員は10年ぐらいは同一人物が必要である。3・4年で異動してしまうと軌道に乗ることが少ない。いつまでも行政中心では地域づくりは伸びていかず、自治会の自発的活動や民間委託が必要になってくるとの話には全く賛同する。また、ブランド化を進めるにあたりネーミング・注目・共感・好奇心等戦略が必要であり、首長忖度・議会押し付け・補助金まるごとやっつけプラン等間違った計画に陥らないこと、プラン前のデータ分析、データ収集が大事だとの話にもまったく同感である。 講座2:「議会改革の視点と展望」 議会の役割、議会改革、議会基本条例の現状等を通しての講義であった。各市町村の議会基本条例は実に様々な条例があることを改めて知らされ、本市の議会基本条例が素晴らしい基本条例であることを認識した。藤沢市議会の「カフェトークふじさわ」の議会と市民の対話の可能性について話があったが、本市が進めている「議会サイクル」が市民の付託に応える確かな議会の在り方であり、本市議会としてしっかり定着させていくことが重要であると確信した。

研　修　行　程　表

年　月　日	時　　刻	行　　程
令和７年 ２月１５日 （土）	15：50	盛岡駅発（はやぶさ３２号）
	18：45	東京駅着
	19：05	東京駅発（ＪＲ山手線）
	19：23	渋谷駅着
		～徒歩９分～ 【宿泊】 渋谷東部ホテル （東京都渋谷区宇田川町３－１）
令和７年 ２月１６日 （日）	9：00	（宿泊先）渋谷東部ホテル発
	9：18	渋谷駅発
	9：25	新宿駅着
	9：35	会場着
	10：00	**【研修】** **リファレンス西新宿大京ビル２階** **（東京都新宿区西新宿７丁目２１－３）** **「人口減少対策地方創生特別研修」** **・地域活性化と政策づくり** **・議会改革の視点と展望**
	16：53	新宿駅発（ＪＲ中央線快速）
	17：06	東京駅着
	17：56	東京駅発（はやぶさ１０７号）
	20：44	盛岡駅着